

能「橋弁慶」



津村禮次郎

鞍馬山で修行する牛若丸（沙那王）は夜な夜な京の五條の橋の上に現れ、武術の腕試しをする。弁慶は願ひ事があり五條の天神へ参詣に出かけ、二人は橋の上でばったりと出くわす。暫しの戦いの後、弁慶は降参し二人は主従の契約をなす。少年（子方）が活躍する楽しい能である。

〈出演〉武蔵坊弁慶：津村禮次郎 牛若丸：青山昂生 弁慶の従者：川口晃平 都の者：山本則秀・山本則重
 笛：藤田貴寛 小鼓：幸正昭 大鼓：安福光雄 後見：奥川恒治・佐久間二郎 地謡：中所宜夫・鈴木啓吾・永島 充・坂真太郎・桑田貴志・吉留敬高・藤村 答・河井美紀



山本東次郎

狂言「月見座頭」

月が美しく輝き、虫の音が聞こえる秋の夜、一人の目の見えない男（座頭）が、来合わせた男と共に酒を酌み交わし夜長を楽しむ。やがて二人は名残を惜しみつつ別れる。その後また一人の男が来かかり言葉を掛けるが、その男は最前の男とは違い荒げない所業で、座頭を散々になぶりものにする。実はその男は別人をよそおった同じ男だった。人間の心理描写が優れた狂言である。山本東次郎師の座頭は心に深く残る。

〈出演〉座頭：山本東次郎（人間国宝） 上京の男：山本則俊

創作舞「雨ニモマケズ」

宮澤賢治の世界感、精神と風土を森山開次と津村禮次郎が現代に訴えるダンス作品に創作、左足を失った孤高のダンサー大前光市を迎えて展開する。音楽は宮城県出身の新進作曲家・渋谷牧人、賢治作品には必須のチェロを現代チェリスト多井智紀、和の空気感をもたらす全盲の箏奏者・澤村祐司と能管と篠笛をこなす田中義和のアンサンブルにより詩情豊かに奏でる。新能オリジナル作品必見の初演である。

原作：宮澤賢治作品集より 振付演出：森山開次 監修：津村禮次郎 舞人：森山開次・大前光市・津村禮次郎 音楽/作曲：渋谷牧人
 チェロ：多井智紀 箏：澤村祐司 笛：田中義和 大鼓：安福光雄 衣装：藤崎コウイチ 舞台美術：倉田康治（草月流） 照明：(株)クラフト
 音響：宮地音響企画 協力：スタジオアーキタンツ

▶晴天時会場：

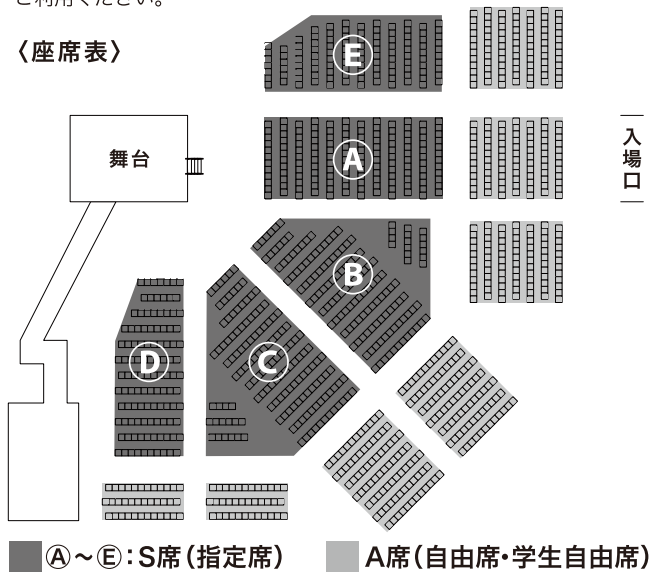
都立小金井公園江戸東京たてもの園前



- JR 中央線武蔵小金井駅北口からバス5分
 西武バス：2・3番のりばより、「小金井公園西口」下車。徒歩5分
 関東バス：4番のりばより、「江戸東京たてもの園前」下車。徒歩3分
- JR 中央線東小金井駅北口からバス6分
 CoCoバス(小金井市コミュニティバス)のりばより、
 北東部循環「たてもの園入口」下車。徒歩10分
- 西武新宿線花小金井駅南口からバス5分
 西武バス：「南花小金井」のりば(小金井街道沿い)より、
 武蔵小金井駅行き「小金井公園西口」下車。徒歩5分。

※お車で越越しの場合は、小金井公園の有料駐車場(第1駐車場)をご利用ください。

〈座席表〉



▶雨天時会場：

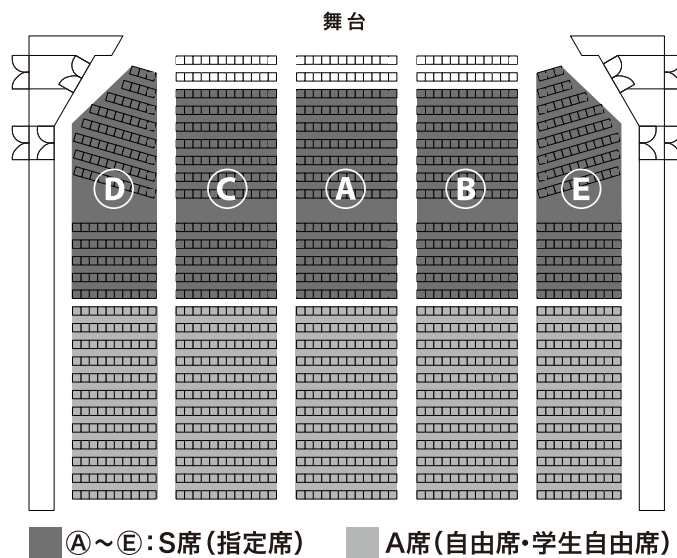
中央大学附属高等学校講堂



- JR 中央線武蔵小金井駅北口からバス6分
 京王バス：6番のりばより、
 中大循環「中大附属高校」下車すぐ
- 西武新宿線小平駅南口からバス12分
 銀河鉄道バス：小平国分寺線
 「中央大学附属中学・高等学校」下車すぐ

※駐車場は有りませんので、車での来場はご遠慮下さい。

〈座席表〉



〈雨天の場合〉当日午後3時に雨天会場(中央大学附属高等学校講堂)への変更を決定し、公園各入口、武蔵小金井駅北口等に提示します。公演中、降雨・雷発生時は、事務局、演者と慎重に協議の上、公演中止となる場合もある事をご了承下さい。その場合の払戻は一切いたしません。

※晴天、雨天に関わらず場内での写真撮影、ビデオ撮影、録音は著作権法上、固くお断り申し上げます。携帯電話のスイッチは必ずお切り下さい。

電話でのお問合せは、当日に限り受け付けます。
 〈小金井薪能事務局〉
 080-9367-5960 (公演当日に限る)
 042-384-8753 (午前10時~午後4時)

後援：小金井市・小金井市教育委員会・小金井市観光まちおこし協会・小金井市商工会・東京小金井ライオンズクラブ・東京小金井ロータリークラブ・国際ソロプチミスト東京一小金井・小金井青年会議所・(株)ジェイコム東京

〈問合せ先〉小金井薪能事務局 〒184-0004 東京都小金井市本町 1-9-3 エステート立花 2F Tel:042-384-8753 午前10時~午後4時(土日祝日を除く)

Facebook: <https://www.facebook.com/koganeitakiginou/> (公式HP) <http://koganeitakiginou.sakura.ne.jp>

ロゴ制作：東京学芸大学デザイン研究室 表面：津村禮次郎写真：Shigeru Inoue 森山開次写真：Hidemi Seto デザイン：Akiko Kawakami / ruelle studio

